

## 元村中央自治会

### 中学生役員との連携

元村中央自治会の恒例行事である夏祭り。毎年、元村東自治会と合同で開催している。滝沢ふるさと交流館の駐車場でやぐらを組み、出店が立ち並び、大規模に行われている。子どもの多い地域のため、内容も子どもが楽しめるよう工夫している。この祭りの盛り上げに大きく貢献しているのが、平成 24 年から取り組みが始まった、滝沢中学校の地区生徒会である。区域に関わらず、自治会活動に興味を持つ生徒が集い、流しそうめんや金魚すくい、会場アナウンスなどを担っている。当初は「学生ボランティア」という名目だったが、学生にも率先して活躍してもらいたいと考え、現在は「中学生役員」として参加をし、自治会から活動助成金を交付することで、自治会活動に深く関わってもらっている。お祭りのほかにも花壇の花植え等にも参加をしており、若い力が自治会を大いに盛り上げてくれている。



夏祭り

### 自主防災活動の始動

自主防災活動については、平成 18 年に規約を作ったものの、規約に基づいた訓練が実施されていなかったことから、平成 20 年に地域をいくつか区切って自主防災訓練を実施。平成 28 年には防災マップを作成した。岩手県の地域防災サポーター担当から指導を受けたり、実際に自分たちで危険箇所を歩いたりしながら 3 エリアに分けて作成。完成したマップは全戸配布をした。令和元

年 10 月にはせいほくタウンエリアのマップ見直しを行い、今後も地域の変化に応じて定期的に更新していく予定。



消防訓練

### 震災後の活動

10 年間の活動の中で、元村地区自治会連絡協議会で実施した東日本大震災の被災地支援がある。自治会や民生委員、元村子どもさんさ愛好会とその父兄ら約 70 名が集い、平成 24 年 11 月 4 日に山田町の仮設住宅を訪問。焼きそばやスイカ等のふるまいや、滝沢のリンゴジュースのお土産、子どもさんさの舞いの披露を行った。翌年 9 月 1 日には同様に約 80 名で釜石市へ訪問。困ったときはお互い様の精神と地域で協力しあうことの大切さを大人も子どもも実感することができた。

### 今後の展望

将来的に現在の元村中央自治会を 3 つの自治会に分離する構想がある。地域が広く、一つの地域に 3 つの小学校があり、学区の隔たりから連携がとりづらいことが課題となっており、今後より細やかな自治会活動を行うことがねらい。



左から黒沼弘氏(事務局長)、百目木忠志氏(自治会長)、神保修氏(副会長)、取材時撮影